



顕著な大雨に関する情報について

～線状降水帯を知っていますか？～

令和2年7月豪雨では九州をはじめ各地で大雨による甚大な災害が発生し、特に線状降水帯による特別警報級の大雨となることを事前に予測することが困難でした。それを踏まえ、大雨による災害発生危険度の急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する「顕著な大雨に関する情報」を令和3年6月17日に提供開始しました。

この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報で、警戒レベル4相当以上の状況で発表します。

線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起

線状降水帯と考えられる雨域が確認され、かつ土砂災害や洪水災害の危険度が急激に高まってきた場合に緊急的に発表する解説情報です。

顕著な大雨に関する情報の例

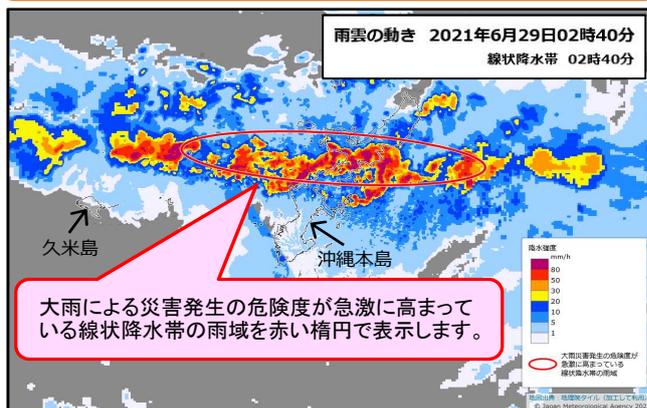
顕著な大雨に関する〇〇地方気象情報
令和3年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇气象台発表

〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生危険度が急激に高まっています。

情報の留意点

顕著な大雨に関する情報を待つことなく、災害発生危険度の高まりを示す**キキクル（危険度分布）**を活用いただくことが極めて重要です。

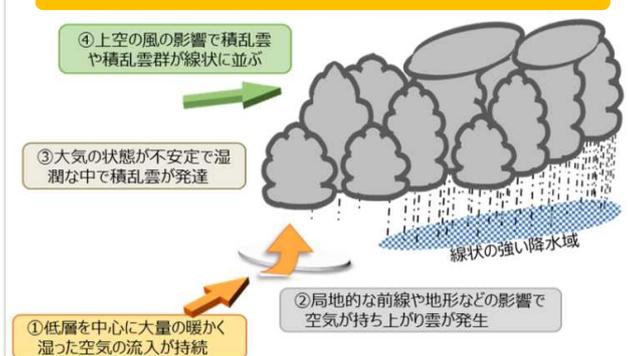
情報を補足する線状降水帯の表示例（雨雲の動き）



◆線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をとまなう雨域を線状降水帯といいます。

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



顕著な大雨に関する情報が発表されたとき！

- ・土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害が想定される区域にお住まいの方は、**市町村から発令されている避難情報に従い、直ちに適切な避難行動をとってください。**
- ・すでに避難場所までの移動が危険な場合は、無理に行動せず建物の2階以上の浸水しにくい高い場所や崖と反対側の部屋に移動するなど、**身の安全を確保してください。**

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30～17:15)